

# 他都市の文化施設について

資料 3

施設名		概要		機能・複合	
1	わくわくホリデーホール (札幌市民ホール) 民間活力・ネーム	都市	札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市民会館閉館後、わずか1年半の建替工事を終えて暫定的ながらH20年12月にオープン。⇒BLT方式(建設+リース+移管)採用</li> <li>※ 大和リースとの賃貸契約：H20.10-H27.3 20億6,699万円</li> <li>・H27.4-H32.3 指定管理者：大和リース㈱</li> <li>・H27.4 に地元旅行会社の(株)わくわくホリデーがネーミングライツを取得。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホール1,500席、会議室6室、カフェ、コンビニ、旅行会社</li> <li>・札幌市は同ホールのほか、北に隣接する街区にH30年度までに新ホールを建設する予定。(札幌市民交流プラザ)</li> </ul>
		開館年	2008年(H20)		
		設置者	札幌市		
		運営	大和リース(株) (指定管理:H27-H32)		
2	札幌市民交流プラザ ホール・機能・複合	都市	札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌における多様な文化芸術活動の中心的な拠点として整備</li> <li>・市街地再開発事業</li> <li>・地上9階、地下1階建て</li> <li>H20.10 市民交流複合施設基本計画策定</li> <li>H25.5 (仮称)市民交流複合施設整備基本計画策定</li> <li>H27.1 建設工事着工</li> <li>H30.10 開館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の優れた舞台芸術、公演を鑑賞できる「札幌文化芸術劇場」と、市民の文化芸術活動をサポート・育成する「札幌文化芸術交流センター」、都心に集う人々に仕事や暮らしに役立つ情報を提供する課題解決型図書館「札幌市図書・情報館」の複合施設</li> <li>・多面舞台ホール(2300席)、練習室、オープンスタジオ、屋内広場、カフェレストラン</li> </ul>
		開館年	2018年(H30) 予定		
		設置者	札幌市		
		運営	公益財団法人 札幌市芸術文化財団(指定管理:H28-H32)		
3	日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター) 機能・ネーム	都市	仙台市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台フィルハーモニー管弦楽団の本拠地ホール。</li> <li>・ネーミングライツにより、H25年7月から愛称が「日立システムズホール仙台」となった。</li> <li>・クラシック音楽専用のコンサートホール、ステージとの一体感が得られるシアターホール、自在な空間演出が可能な交流ホール、ビジュアル機材を使用した会議に適したエッグホール、音楽やダンスの練習のための練習室のほか、会議室、和室、パフォーマンス広場など多様なニーズに対応できる複合施設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンサートホール(804席)、シアターホール(588席)、交流ホール、エッグホール、ギャラリー、会議室3室、研修室3室、練習室4室、ビデオスタジオ、音楽スタジオ、パフォーマンス広場(自由利用)</li> </ul>
		開館年	1990年(H2)		
		設置者	仙台市		
		運営	公益財団法人仙台市市民文化事業団(指定管理)		
4	せんだいメディアテーク 機能・複合	都市	仙台市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心の定禅寺通り沿いにある複合文化施設。仙台市教育委員会が所管。</li> <li>・仙台市民図書館・ギャラリー・イベントスペース・ミニシアターなどかなり、仙台の文化の中心となっている。</li> <li>・「メディアテーク」は視聴覚資料室を意味している。書籍、ビデオやDVD、CDやCD-ROMなどの映像や音楽をはじめとする多様な表現媒体を収集・保管、来館者へ提供する図書館・映画館機能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタジオシアター(180席)、スタジオ、ギャラリー、仙台市民図書館、映像音響ライブラリー、オープンスクエア(可動席で300名収容可)、カフェ、ラウンジ、ショップ</li> </ul>
		開館年	2001年(H13)		
		設置者	仙台市		
		運営	仙台市市民文化事業団(指定管理)		
5	トーキョーワンダーサイト 創造拠点	都市	東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TWSは、新しい芸術文化を創造・発信するアートセンター。</li> <li>・TWS本郷、TWS渋谷、TWSレジデンスの3館を拠点に、若手クリエイターの発掘・育成・支援や、様々なジャンルのアーティストによる国際文化交流を目的とした展覧会やレジデンス・プログラム、教育事業などを実施。</li> <li>・「世界創造都市東京」のプラットフォームとしての活動を展開している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TWS本郷…ギャラリー4室、交流室</li> <li>TWS渋谷…ギャラリー4室、交流室</li> <li>TWSレジデンス(墨田)…クリエイターが滞在制作を行うレジデンス・プログラム。12部屋の宿泊室、大小2つのスタジオ、交流スペース、ライブラリーなど</li> </ul>
		開館年	2001年(H13)		
		設置者	東京都		
		運営	公益財団法人 東京都歴史文化財団(指定管理)		
6	豊島区立舞台芸術交流センター あうるすぽっと 事業	都市	東京都豊島区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区の文化施設として東池袋駅前のライズアリーナビル内に開設。</li> <li>・公演プログラムとワークショップやレクチャーなどの育成プログラムを中心に運営</li> <li>・指定管理者制度が導入されており、公益財団法人としま未来文化財団が管理運営を受託。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>劇場301席、会議室2室、カフェ</li> </ul>
		開館年	2007年(H19)		
		設置者	東京都豊島区		
		運営	公益財団法人としま未来文化財団(指定管理)		
7	ヨコハマ創造都市センター (YCC) 創造拠点	都市	横浜市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和4年(1929年)に建設された歴史的建造物「旧第一銀行横浜支店」を用いた施設。</li> <li>・横浜市が推進する「クリエイティブ・シティ構想(創造都市構想)」の拠点施設。</li> <li>・デザイン・アートなどのクリエイティブ分野と、産業・経済・地域などを結びつけ、横浜の産業振興・地域活性化へと繋げていく役割を担う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャラリー(200名)、カフェ、コワーキングスペース(シェアオフィス)、イベントスペース、ファブラボ(工房)、イベントホール2ヶ所(200名、50名)</li> </ul>
		開館年	2015年(H27)リニューアルオープン		
		設置者	横浜市		
		運営	特定非営利活動法人YCC(指定管理)		

施設名		概要		機能・複合	
8	長岡市シティホールプラザ アオーレ長岡  複合・建築	都市	長岡市(新潟県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所機能の中心市街地集約化と、老朽化した旧厚生会館の後継施設整備を柱に、市民交流の拠点施設として2012年4月にオープンした。</li> <li>・施設は長岡市役所本庁舎と、アリーナ、市民交流ホールなどを擁する交流施設、屋根付き広場「ナカドマ」の3つから成る。</li> <li>・建設総事業費は約120億円。建物空間のデザインは建築家の隈研吾。</li> </ul>	長岡市役所本庁舎、市議会議場、市民交流ホール(200人)、多目的アリーナ(2,123㎡、2,172人)、市民協働センター、屋根付き広場「ナカドマ」(2,250㎡)、カフェ、コンビニ、モスバーガー、銀行
		開館年	2012年(H24)		
		設置者	長岡市		
		運営	長岡市		
9	新潟市民芸術文化会館 りゅーとびあ  ホール・機能	都市	新潟市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化と建築と環境の調和をはかり、音楽・舞台芸術の殿堂とすべく誕生。新潟の代名詞「柳都」と「ユートピア(理想郷)」を結びつけて「りゅーとびあ」と付けられた。</li> <li>・コンサートホール、劇場、能楽堂の3つの本格的専門ホールの他、スタジオやギャラリーなど文化の発信基地にふさわしい機能を誇る。</li> </ul>	コンサートホール(1884席)、劇場(868席)、能楽堂(382席)スタジオ、練習室、ギャラリー、レストラン、カフェ、ラウンジ、空中庭園、屋上庭園
		開館年	1998年(H10)		
		設置者	新潟市		
		運営	公益財団法人新潟市芸術文化振興財団(指定管理)		
10	静岡市清水文化会館 マリナート  ホール・PFI	都市	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFI法に基づき設計、建設を行い、完成後、施設の所有権を市へ譲渡、会館の維持管理及び運営を行うBTO方式【Build(建設)－transfer(譲渡)－Operate(運営)】。</li> <li>・清水文化事業サポート株式会社(特別目的会社)。清水駅に直結、利便性を確保。</li> </ul>	大ホール(1513人)、小ホール(292人)、リハーサル室、練習室2室、ギャラリー
		開館年	2012年		
		設置者	静岡市		
		運営	特別目的会社：清水文化事業サポート(株)		
11	ロームシアター京都 (京都会館)  ホール・複合・ネーム	都市	京都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1960年(昭和35年)に開館。2015年に大規模改修(改修費90億円)。</li> <li>・ネーミングライツにより通称：ロームシアター京都として2016年1月にリニューアルオープンした。</li> <li>・命名権52億5千万円(50年契約)</li> </ul>	メインホール(2005席：コンサート用)、サウスホール(716席：演劇)、ノースホール(200席)。パークプラザ(飲食店などの施設、中核店舗は蔦屋書店とスターバックスコーヒー)。ロームスクエア(野外イベント会場)
		開館年	2016年(H28) リニューアルOP		
		設置者	京都市		
		運営	京都市音楽芸術文化振興財団(指定管理)		
12	兵庫県立芸術文化センター  ホール・機能・ネーム	都市	西宮市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術監督：佐渡裕、芸術顧問：山崎正和。専属オーケストラ：「兵庫芸術文化センター管弦楽団」。</li> <li>・ネーミングライツスポンサー：大ホールは神戸製鋼所、愛称はKOBELCO大ホール、小ホールは学校法人神戸女学院が取得、愛称は神戸女学院小ホール、中ホールは阪急電鉄で愛称は阪急中ホールとなった。</li> </ul>	大ホール(2001席)、中ホール(800席)、小ホール(417席)、リハーサル室、練習室、楽団ゾーン、レストラン
		開館年	2005年(H17)		
		設置者	兵庫県		
		運営	公益財団法人兵庫県芸術文化協会(指定管理)		
13	神戸芸術センター  ホール・複合・民間	都市	神戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産業を営む総合商事が所有する物件で事業主。(株)日本芸術センターが運営管理。</li> <li>・神戸の新しい芸術・文化の拠点。近隣に新神戸オリエンタル劇場、神戸国際会館こくさいホール、神戸文化ホールもある。</li> <li>・地上37階建て。高層階はマンションになっている。</li> </ul>	神戸芸術劇場(1100席)、シューマンホール(126席)、ショパンホール(132席)、プロコフィエフホール(132席)、ギャラリー、スタジオ5室、会議場、貸オフィス、ストア、医療モール、高級賃貸マンション ほか
		開館年	2008年(H20)		
		設置者	民間		
		運営	㈱日本芸術センター		
14	神戸アートビレッジセンター (KAVC(かぶつく))  創造拠点・機能	都市	神戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギャラリー、劇場、多目的ホール、スタジオを備えた創造型芸術文化施設。略称はKAVC(かぶつく)。</li> <li>・若手芸術家育成と新開地再生を主たる目的として開設。以来、演劇、美術、映像、音楽等の制作・練習・発表・鑑賞・交流の場を広く一般に提供。</li> <li>・神戸における“アートの拠点”の一つとなっている。</li> </ul>	ホール(144席)、シアター(94席)、スタジオ3室、アトリエ、ギャラリー、リハーサル2室、会議室2室
		開館年	1996年(H8)		
		設置者	神戸市		
		運営	大阪ガスビジネスクリエイト㈱(指定管理)		

施設名		概要		機能・複合	
15	デザインクリエイティブセンター神戸 (KIITO) 創造拠点・機能	都市	神戸市	<ul style="list-style-type: none"> <li>近代産業化遺産である旧神戸生糸検査所を神戸市が取得。</li> <li>創造都市戦略「デザイン都市・神戸」のシンボルとして、また市民・事業者・クリエイターがつながり新たな価値を生み出す創造の場として平成24年8月に「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」にリニューアルした。</li> </ul>	地上4階建ての建物内。デザインやアートにまつわるゼミ、レクチャー、展示、イベントを開催する。KIITOホール(950㎡)、ギャラリー3室、貸会議室3室、クリエイティブラボスペースなどがある。
		開館年	2012年(H24)		
		設置者	神戸市		
		運営	デザイン・クリエイティブセンター神戸(指定管理)		
16	山口情報芸術センター (YCAM) 創造拠点・機能・複合	都市	山口市	<ul style="list-style-type: none"> <li>市立図書館、スタジオ、創作室、レストランなどの複合施設。</li> <li>メディアアートや現代美術の企画展、市民の美術発表の場、演劇上演やワークショップ、ミニシアターとして映画上映などが行われている。</li> <li>映像作品など美術コレクションは所蔵せず、作品の制作・展示の場に徹している。</li> <li>センタースタッフが、ラボ機能を活用し、創造活動事業(メディアアートを)を展開している。</li> </ul>	山口市立中央図書館、スタジオA(450名：演劇、音楽、美術展示)、スタジオB(美術展示、演劇)、スタジオC(100名：映画上映)、創作・学習室(ラボ)、クリエイティブスペース、レストラン、ギャラリー、FMラジオ局
		開館年	2003年(H15)		
		設置者	山口市		
		運営	(財)山口市文化振興財団(指定管理)		
17	秋吉台国際芸術村 文化創造拠点	都市	山口県美祢市秋芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽、絵画などの芸術家が長期滞在して創作活動を行い(アーティスト・イン・レジデンス)、ワークショップ形式で作品を発表することを想定した施設。</li> <li>山で囲まれた場所に宿泊施設(芸術家やワークショップ参加者用)を備え、創作活動に専念できる環境を作り出している。</li> <li>芸術家と地域との交流等を実施する「レジデンス・サポート事業」を実施。</li> </ul>	ホール(約400席)、アンフィシアター(野外劇場、約600人)、中庭(屋外)(約300人)、ギャラリー、研修室3室、スタジオ7室、カフェ、宿泊棟、サロン、暗室(現像機材等)
		開館年	1998年(H10)		
		設置者	山口県		
		運営	(財)山口県文化振興財団(指定管理)		

## <参考>その他 公的不動産有効活用例

東京都豊島区新庁舎 複合	都市	東京都豊島区	<ul style="list-style-type: none"> <li>地上49階・地下3階。1階～9階までが区役所、11階～49階までは権利交換方式による地権者の住宅。</li> <li>新庁舎総工費は約430億円。国から約106億円の補助金。</li> <li>住宅フロアの空き部屋を販売、その売上金181億円を庁舎建設費や補償費に充当。</li> <li>さらに旧区役所跡地を定期借家によって民間に貸与。これで約191億円を捻出。⇒これにより公費ゼロで庁舎建設。</li> </ul>	※権利交換方式=開発区域内に土地や建物に関する権利を持っている人の権利と、それに見合う新しく建設されるビルの床の権利とを置き換える方式。
	開館年	2016年(H28)		
	設置者	豊島区(施設管理部庁舎建設室)		
	運営	豊島区・民間		
JR小松駅前複合ビル開発事業 複合	都市	石川県小松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別目的会社(SPC)が事業主体。</li> <li>土地を小松市から借り、SPCは8階建てのビルを建設/所有する。</li> <li>総事業費45億円。事業費の1/4を国と小松市の補助金、1/2を銀行から借用、1/8を財団出資、1/8を投資家を募り実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1F～3Fは、小松市の第三セクター(こまつ賑わいセンター)が賃借し、公立小松大学、多世代交流施設、ブックカフェ、物販店が入居する計画。</li> <li>4F～8Fは、エイチアイエフ・リゾート(本社：小松市)が賃借し、客室数100のホテルを運営する。</li> <li>三セク、ホテルとも、25年の定期借家契約、建物は原則としてSPCが50年間保有した後、市に返却する。</li> </ul>
	開館年	2017年(H29)10月予定		
	設置者	小松市・民間		
	運営	合同会社青山ライフプロモーション(SPC)		